

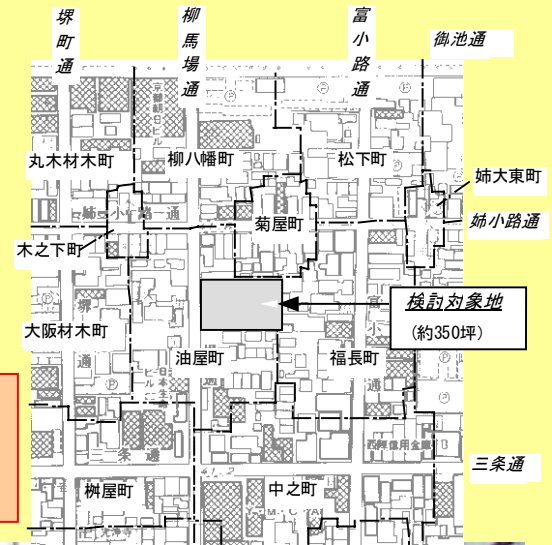
# (1)姉小路界隈を考える会の設立 (平成7年)

## 1 町家街区での高層マンション問題の発生

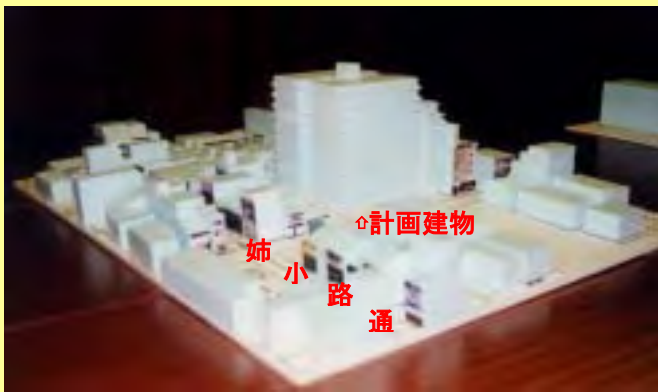
姉小路界隈は昔から住のあたたかみと職の活気が響きあい、育みあって栄えてきた職住共存のまちです。

様々な生業を営む老舗と小さな商店と町家を含むごく普通の住宅が並ぶ中低層の町並みは、落ち着いた表情を見せています。

平成7年6月に、界隈の人に親しまれていた「旧京都ガス本社跡地」で、突然、高層分譲マンション計画が発表され、地元では反対運動を開始しました。



←計画想定模型  
計画地位置図→  
↓計画敷地全景



## 2 姉小路界隈を考える会の設立

界隈ではこの問題を契機に学習会を連続的に開催。まちを再発見し、皆が納得できるまちの将来像を探ることの必要性の確認を行い、平成7年10月に「**姉小路界隈を考える会**」を設立しました。活動は、建物の高さやデザインの規制などの各論からではなく、まちを再発見し、みんなが納得できるまちの方向を探っていくことを目的に開始しました。

### 【会の目的】

豊かな歴史と伝統を有する姉小路界隈において、この地で育まれ継承されてきた、優れた精神性（こころ）の再認識を行い、まちを支える人のつながりを大切に、住みよい、安心して暮らせる環境づくりや、まちに住み、働く人々に愛され、誇りに思える町並みづくりなどを皆で考え、皆の手でまちづくりにつなげていくことを目的とする

会設立を紹介した京都新聞記事  
(平成7年11月10日夕刊トップ記事)

## ■マンション建設反対運動とまちづくり活動を同時平行で展開

マンション建設反対運動を活発に展開する一方で、まちづくり活動を開始しました。

反対運動後のまちの状況を考慮し、界隈再発見により互いの理解を深めることで、まちの将来像を皆で共有することを目的として活動を開始しました。